

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 10 月 8 日 (2009.10.8)

【公開番号】特開 2008-61083 (P2008-61083A)
 【公開日】平成 20 年 3 月 13 日 (2008.3.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-010
 【出願番号】特願 2006-237586 (P2006-237586)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

G 0 3 B 17/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

G 0 3 B 17/18 Z

G 0 3 B 17/00 Q

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 8 月 21 日 (2009.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示手段と、

基準位置に対する傾きを検出する傾き検出手段と、

前記傾き検出手段によって検出された傾きに相応するガイド表示を表示していない場合に前記傾き検出手段によって検出された前記基準位置に対する傾きが第 1 の角度以上となった場合に、前記ガイド表示を前記表示手段の画面上に表示するように制御し、前記ガイド表示を表示している場合に前記傾き検出手段によって検出された前記基準位置に対する傾きが前記第 1 の角度より小さい第 2 の角度以下となった場合に、前記ガイド表示を前記表示手段の画面上に表示しないように制御する表示制御手段とを備えたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記傾き検出手段のゲインを調節するゲイン調節手段と、前記ゲイン調節手段によって調節される前記傾き検出手段のゲインに応じて前記第 2 の角度を設定する角度設定手段とを有することを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記角度設定手段は、前記傾き検出手段のゲインに応じて前記第 1 の角度を設定することを特徴とする請求項 2 記載の撮像装置。

【請求項 4】

表示手段と、基準位置に対する傾きを検出する傾き検出手段と、前記傾き検出手段によって検出された前記基準位置に対する傾きに基づいて、前記傾き検出手段によって検出された傾きに相応するガイド表示を前記画像表示手段の画面上に表示するように制御する表示制御手段とを備えた撮像装置の制御方法であって、

前記表示制御手段は、前記ガイド表示を表示していない場合に前記傾き検出手段によって検出された前記基準位置に対する傾きが第 1 の角度以上となった場合に、前記ガイド表示を前記表示手段の画面上に表示するように制御し、前記傾き検出手段によって検出され

た前記基準位置に対する傾きが前記第 1 の角度より小さい第 2 の角度以下となった場合に、前記ガイド表示を前記表示手段の画面上に表示しないように制御することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上述の課題を解決するために本発明は、

表示手段と、

基準位置に対する傾きを検出する傾き検出手段と、

前記傾き検出手段によって検出された傾きに相応するガイド表示を表示していない場合に前記傾き検出手段によって検出された前記基準位置に対する傾きが第 1 の角度以上となった場合に、前記ガイド表示を前記表示手段の画面上に表示するように制御し、前記ガイド表示を表示している場合に前記傾き検出手段によって検出された前記基準位置に対する傾きが前記第 1 の角度より小さい第 2 の角度以下となった場合に、前記ガイド表示を前記表示手段の画面上に表示しないように制御する表示制御手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 】

